

報道関係各位

令和3年10月31日
地方独立行政法人天王寺動物園
園長 向井 猛
(担当：飼育展示課 06-6771-2174)

天王寺動物園のフタコブラクダのジャックが死亡しました

天王寺動物園で飼育していましたフタコブラクダのジャック（オス・29歳）が令和3年10月31日（日曜日）に死亡しました。

ジャックは、平成4年6月23日に広島市安佐動物公園で生まれ、平成5年6月23日に天王寺動物園に来園し、コニー（平成25年5月14日死亡）との間に、3頭の子どもをもうけました。

令和2年9月には「動物愛護フェスティバル」にて長寿表彰を受け、毎日の体温測定や毎月の採血検査、定期的な体重測定により健康状態を把握しつつ、健康に長生きしてもらえるように取り組んできました。

一般的に飼育下の高齢ラクダは、歳をとるにつれて座る時間が長くなり、それによりさらに体が弱るという悪循環の傾向がみられるため、広範囲に餌をセットしたり、枝葉を設置したりして運動量を確保し、このような取り組みにより、令和2年10月には「エンリッチメント大賞」奨励賞をいただきました。

10月中旬より食が細り、体調を崩していたため継続して治療を行っていましたが、本日開園前に飼育員がジャックの様子を確認したところ横たわっていたため、獣医師が確認し、9時40分に死亡を確認しました。

なお、献花台は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から設置いたしません。

[死亡したジャックのプロフィール]

愛称：ジャック

生年月日：平成4年6月23日 広島市安佐動物園（広島県）生まれ

来園：平成5年6月23日 ブリーディングローン契約により来園



平成 29 年 4 月 6 日撮影

[参考] フタコブラクダについて

ウシ目 ラクダ科 学名：*Camelus bactrianus* 英名：Bactrian camel

ラクダは現在でも大切な使役動物で、フタコブラクダはヒトコブラクダと同様、B.C2,000～1,800 年頃には既に家畜化されていたとも言われています。

現在生息しているフタコブラクダのほとんどは家畜種で、野生種のはモンゴルのアルタイ山脈のふもとなどに極めて少数が存命しているだけと言われています。

この為、野生種は国際自然保護連合 (IUCN) の保存状況評価では絶滅危惧種(CR)としてレッドリストに指定され、保護されています。

国内での飼育数は15園館46頭（オス15・メス31）（令和3年10月9日現在）

体長：2.5～3メートル前後

体重：350キロ～650キロ前後

寿命：20～30年程度と考えられているが、40年近く生きた例もある（野毛山動物園、推定38歳）。

ブリーディングローンについて

動物園同士が繁殖を目的として動物を貸し出し、あるいは借り入れする契約のこと。貸し出した動物の所有権を元の動物園に残したまま動物を移動させることができるので、希少動物の繁殖が活発に行えるメリットがあります。生まれた子どもの所有権については両方で協議することとなっています。